

部 局	豊中市伊丹市クリーンランド事務局	補 職	クリーンランド事務局長	氏 名	野口 幸雄
-----	------------------	-----	-------------	-----	-------

1. 部局の使命

豊中、伊丹両市で唯一のごみ処理施設として、「安全・安心」への取り組みを継続し、環境に配慮した管理運営を行うとともに、限られた人材と財源を最大限に活用することで施設を安定稼働させ、良質な市民サービスを提供する。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
<p>(1) クリーンランド事業が豊中、伊丹両市民の日常生活に直結するものであることを強く認識し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市民の安全・安心の確保 ②継続性・安定性の維持 ③市民との信頼関係の確保 ④市民の快適な暮らしの下支え <p>をもって、単なる「ごみ処理施設」ではなくエネルギーや資源を生み出す「森の中の再生工場」として良質な市民サービスを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な稼働と運営を継続します。 ・デジタル化を推進します。 ・未来の地球環境を見据え、環境の保全と負担低減に寄与します。 ・市民に愛され親しまれる学びや交流の場を創造します。 ・様々な危機事態に対応する取り組みを推進します。 	<p>クリーンランド事業が豊中、伊丹両市民の日常生活に直結するものであることを強く認識し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期補修工事の実施、また機器トラブルなどへの迅速対応、さらには高効率発電を継続し、安全で安心な稼働と運営を継続しました。 ・ごみ施設使用料のキャッシュレス化と臨時ごみ搬入予約のインターネット利用率の向上、さらには、各種会議での無線LANを活用したペーパーレス化などデジタル化を推進しました。 ・環境基準を遵守するとともに、施設照明のLED化を図るなど、環境の保全と負担低減に寄与しました。 ・環境学習や市民講座を実施するとともに、クリーンランドひろばを活用したイベントを実施することにより、学びや交流の場を市民に提供しました。 ・新型コロナウイルス感染予防と新基準の浸水想定に対応するための止水板設置など、危機事態に対応する取り組みを実施しました。

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>ごみ焼却施設の安定稼働</p> <p>(1) 市民に信頼され、快適な暮らしを支える施設として安全で安心な稼働と運営を継続します。</p> <p>①定期補修工事の実施と機器設備の適正な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 各焼却炉それぞれ約40日間の補修工事(1号炉 4月21日～5月30日 2号炉 6月10日～7月19日 3号炉 9月22日～10月31日) 運転計画に基づいたごみ焼却業務を遂行するとともに機器トラブルに迅速に対応措置します。 工事内容をより精査することに加え、職員自らが実施できる補修については積極的に行い、コスト削減と技術継承に繋がります。 これらのことによりトラブルによる焼却炉の停止「0日」をめざします。 <p>②高効率発電の維持(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高効率20%以上を維持します。 売電収入の8億円以上を確保します。 <p>③公害関連基準の遵守(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた施設の安定稼働を継続することにより、排ガス及び排水の各種法定基準の遵守はもとより、さらに厳しく設定した自主規制基準を遵守します。 	<p>①定期補修工事の実施と機器設備の適正な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 各焼却炉の補修工事を計画通り実施しました 設備トラブルにより、3日間の全炉停止が発生したが、迅速な対応により被害を最小限にとどめ安定稼働に繋がりました。 職員自らが実施できる補修を積極的に行いました。(クレーンバケットのシリンダー交換及び油圧部品交換など) <p>②高効率発電の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電効率20%以上を維持しました。 売電収入、約9億5千万円を確保しました。 <p>③公害関連基準の遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> 排ガス及び排水の各種法定基準の遵守はもとより、自主規制基準を遵守しました。 	<p>施設の安定稼働を継続することにより、高効率発電の維持と公害関連基準遵守に繋がります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経年劣化による機器トラブル等の増加が予測されることから、積極的な補修整備を実施することで、コスト削減、技術と技能の継承を図ります。
	<p>総合計画</p> <p>3-2-② 循環型社会の構築に向けた取組みを進めます。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>34 ゼロカーボンシティの実現</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	リサイクルプラザの安定稼働	<p>①火炎検知による機器停止時間の短縮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングと運營業務委託業者との情報共有を定期的実施し、施設の稼働状況と維持管理状況を把握しました。 ・発火の発生状況報告書を両市に提供し、情報共有するとともに、原因物の搬入低減対策を協議しました。 <p>【令和5年(2023年)10月から小型家電等の分別回収開始予定(豊中市)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや分別アプリなどを活用し適正な排出を啓発しました。 ・発火による年間機器停止時間を約125時間に抑えました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安定稼働のため、モニタリングを継続し、運転状況と維持管理状況を把握します。 ・発火件数の低減に向けた啓発を行うとともに、消火対応の充実を図ります。 ・小型家電等の分別回収の受入れ体制を構築します。
	<p>(1) 市民に信頼され、快適な暮らしを支える施設として安全で安心な稼働と運営を継続します。</p> <p>①火炎検知による機器停止時間の短縮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングと運營業務委託業者との情報共有を図り、施設の稼働状況と維持管理状況を把握します。 ・火炎発生状況を両市と情報共有し、原因物の搬入低減対策を協議します。 ・ホームページや分別アプリなどを活用し適正排出を啓発します。 ・これらのことにより年間機器停止時間を150時間以内にすることをめざします。 		
総合計画			
	3-2-② 循環型社会の構築に向けた取組みを進めます。		
基本政策			
	34 ゼロカーボンシティの実現		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	デジタル化の推進	①インターネットによる臨時ごみ搬入受付の充実 ・インターネット受付枠を令和4年(2022年)10月から40%に拡大しました。 ②キャッシュレス化の充実 ・携帯端末による決済に加え、令和5年(2023年)2月からクレジットカード決済を可能にしました。	デジタル化による業務の効率化と市民の利便性向上をめざします。
	(1) デジタル化を推進し、市民の利便性の向上を図ります。 ①インターネットによる臨時ごみ搬入受付の充実 ・全体の30%に設定しているインターネット受付枠を、市民への周知を図り40%に拡大します。 ②キャッシュレス化の充実 ・携帯端末による決済に加え、クレジットカード決済を可能とします。(2月予定)		
総合計画			
	3-1-① 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます。		
基本政策			
	64 とよなかデジタル・ガバメントの推進		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>環境保全と環境負荷低減</p> <p>(1) 未来の地球環境を見据えた環境保全と環境負担低減を図ります。</p> <p>①高効率発電の維持(再掲) ・高効率20%以上を維持します。</p> <p>②環境学習 ・ごみの減量化推進及び分別徹底の周知を図り、資源化率60%以上を維持します。</p> <p>③施設照明のLED化 ・令和4年度(2022年度)から3年計画で施設照明約3,000本をLED化することによりCO2排出量を各年度80トン、3ヶ年合計240トン削減します。</p>	<p>①高効率発電の維持 ・発電効率20%以上を維持しました。</p> <p>②環境学習 ・ごみの減量化推進及び分別徹底の周知を図り、資源化率60%以上を維持しました。</p> <p>③施設照明のLED化 ・約1,000本のLED化を実施し、CO2排出量を年間約80トン削減しました。</p>	<p>・未来の地球環境を見据えた環境保全と環境負担低減に引き続き取り組みます。</p> <p>・CO2削減のメニューとして、プラスチックごみ全量リサイクルについて検討を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>3-2-② 循環型社会の構築に向けた取組みを進めます。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>34 ゼロカーボンシティの実現</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	3Rの推進と市民との交流	①環境学習 ・市民講座など13本の動画を配信することにより、市民に「ごみ減量と分別の必要性」について「気づき」の場を提供しました。 ・両市の全小学校の社会科見学や展望フロア開放デーなど施設見学の機会を提供し、市民のごみの減量や分別に対する意識を高めました。 ②クリーンランドひろばや展望フロアの活用 ・展望フロア開放デーやジョイントひろばなどのイベントを開催するとともに、コロナ禍で発表の場を失った団体等の発表の場としてひろばを活用することにより、市民のクリーンランド事業への理解と交流を深めました。 ・クリーンランドひろば来場者数 40,976人/年	・多彩な環境学習メニューなどを提供し、市民のごみに対する意識の向上を図ります。
	(1) 市民に愛され親しまれる学びや交流の場を創造します。 ①環境学習(再掲) ・SNSによる動画配信など多彩なメニューを活用し、市民に「ごみ減量・分別の必要性」について「気づき」の場を提供します。 ・両市の全小学校の社会科見学や展望フロア開放デーなど施設見学を体験した市民に対するアンケートで「ごみの減量や分別に対する意識が高まった」とする割合が100%となることをめざします。 ②クリーンランドひろばや展望フロアの活用 ・クリーンランドひろばを活用し、環境学習に資するイベントの開催やコロナ禍で発表の場を失った団体等へ発表の場を提供することにより、市民のクリーンランド事業への理解を深めるとともに交流の場を創造します。 ・クリーンランドひろば来場者数、年間50,000人以上を目標とします。 ・展望フロア開放デーの実施を継続するとともに、航空会社との協働企画など魅力あるイベントを開催します。 ・展望フロア開放デーを毎月1回開催します。		
総合計画			
	3-1-① 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます。		
基本政策			
	46 多世代交流のまちづくり	70	みんなで取り組み支え合うまちづくりの推進

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	危機事態に対応する備え	①浸水対策 ・新たな浸水想定に対応するため、施設の心臓部である電気関連設備を守る止水板設置等の対策を実施しました。 ②災害ごみ対策 ・地震や浸水害により発生する「災害ごみ」の受入れ・処理体制と2次仮置き場になっている駐車場のレイアウトの検討を進めました。 ③新型コロナウイルス感染症予防対策 ・コロナ禍において感染予防対策を徹底し、感染による事業中断を回避しました。	・想定される大規模災害等に備えるため、訓練と対策の充実を図ります。
	(1) 地震や風水害などの突発的な災害に備えるとともに新型コロナウイルス感染予防対策を継続し、施設を安定的に稼働します。 ①浸水対策 ・施設の心臓部である電気関連設備を浸水被害から守るために止水板設置等の対策を実施することで電力喪失により全施設が稼働できなくなる最悪の事態を回避します。 ②災害ごみ対策 ・地震や浸水害により発生する「災害ごみ」の受入れ・処理体制について両市と協議・検討を進めるとともに災害(防災)訓練などの機会を捉えて災害ごみに係る具体的な対応を確認するなど突発的な事態に備えます。 ③新型コロナウイルス感染症予防対策 ・コロナ禍においても事業継続を強く求められている施設であるため、感染予防対策を継続します。		
総合計画			
	2-4-① 防災力の充実強化を図ります。		
基本政策			
	26 強靱なまちづくりの推進		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	<p>人づくり・組織づくり</p> <p>(1) 持続可能な運営基盤を確立するために「市民視点」「未来志向」「チームプレー」で質の高い市民サービスをめざせる「人づくり」「組織づくり」に取り組みます。</p> <p>①資格・免許の計画的な取得(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法定及びその他施設運営に必要となる資格・免許の計画的な取得を進めます。 ・資格免許保有者数について退職や人事異動を見据えて、最低限必要となる保有者数プラス2名以上をめざします。 <p>②技術検討部会の開催継続(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「技術検討部会」の開催を継続し、施設稼働に関してテーマを定めて調査研究し、その成果を共有することで、より良い施設の維持管理につなげます。 ・技術検討部会の開催(年4回<四半期毎>) <p>③協力と協働の職場づくり(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間の円滑なコミュニケーションを大切にするとともにミーティングや会議の場を通じて全職員が同じ目的に向かって協力・協働する意識を醸成します。また、非常時など大きな課題が発生したときは、全職員で対応する風土を醸成します。 ・朝礼・夕礼の開催(毎日) ・調整会議<管理職会議>の開催(毎月) ・危機管理対策会議の開催(随時) ・防災訓練の開催(年2回) 	<p>①資格・免許の計画的な取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得に係る人材育成計画を見直すとともに計画的な資格取得を進め、退職や人事異動を見据えた体制を構築しました。 <p>②技術検討部会の開催継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「技術検討部会」の開催を継続し、施設のより良い稼働と維持管理に結びました。 ・技術検討部会の開催(年4回) <p>③協力と協働の職場づくり(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングや会議の場を通じて全職員が同じ目的に向かって協力と協働する意識を共有しました。 ・朝礼・夕礼の開催(毎日) ・調整会議<管理職会議>の開催(毎月) ・危機管理対策会議の開催(2回) ・防災訓練の開催(年2回) 	<p>持続可能な運営基盤を確立するために、質の高い市民サービスをめざせる「人づくり」「組織づくり」に取り組みます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。</p>		
<p>基本政策</p> <p>65 職員力を高める人材育成等の推進</p>			

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>施設の安定稼働</p> <p>(1) 市民に信頼され、快適な暮らしを支える施設として安全で安心な稼働と運営を継続し、機器トラブルによる設備停止0(ゼロ)をめざします。</p> <p>(2) 適正な維持管理を継続し、高効率発電20%以上を維持するとともに公害関連基準を遵守します。</p> <p>(3) リサイクル施設については、資源化率の向上とともに、モニタリング業務や委託事業者との情報共有と搬入 ごみの適正化などを通して安定稼働を図り、火災検知による年間機器停止時間を150時間以内にするをめざします。</p>	<p>①継続して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着実な定期補修工事の実施 ・機器設備の適正な維持管理 ・内部モニタリング調査 ・火災件数減少に向けた両市との情報共有と対策検討
総合計画		
3-2-② 循環型社会の構築に向けた取組みを進めます。		
基本政策		
34 ゼロカーボンシティの実現		
2	<p>クリーンランド第3次一般廃棄物処理基本計画の進行管理</p> <p>(1) 豊中・伊丹両市とクリーンランドが一体となって両市域のごみ処理を行うため、令和元年度(2019年度)から令和10年度(2028年度)を計画期間として策定したクリーンランド第3次一般廃棄物処理基本計画の進行管理を着実に進めていきます。</p>	<p>①継続して実施</p> <p>②令和5年度(2023年度) 計画中間見直し</p>
総合計画		
3-2-② 循環型社会の構築に向けた取組みを進めます。		
基本政策		
34 ゼロカーボンシティの実現		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)	
3	<p>焼却施設・リサイクル施設及びクリーンランドひろばと緑地帯の一体的活用 (1) 施設のコンセプトである「森の中の再生工場」の具現化に向け、ごみ焼却施設、リサイクル施設及びクリーンランドひろばと緑地帯の一体的に活用します。</p>	<p>①継続して実施 ・ひろばでの催し (年12回予定) ・ひろば来場者数、年間50,000人以上</p>	
	総合計画		
	3-1-②	自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。	
	基本政策		
34	ゼロカーボンシティの実現		
4	<p>環境学習事業の推進 (1) 分別の重要性への「気づき」や自らのライフスタイルを変革させる「行動」につながるよう、ごみ焼却施設、リサイクル施設及びクリーンランドひろばと緑地帯の一体的に活用し学習機能の充実・開発を図るとともに、出前講座や環境フォーラムなど、ごみや環境問題を基軸とした様々な環境学習事業を推進します。</p>	<p>①継続して実施 ・出前講座 (年30回以上) ・環境フォーラム (年1回)</p>	
	総合計画		
	3-1-①	環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます。	
	基本政策		
34	ゼロカーボンシティの実現		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
5	<p>危機管理体制の整備・充実</p> <p>(1) 危機事態に迅速・的確に対応できるよう、危機管理体制を整備・充実するとともに、災害対応マニュアル及び災害廃棄物処理マニュアル・業務継続計画等に基づき、災害時などの多様な事態を想定した研修や訓練に取り組みます。また、コロナ禍においても、職員の健康管理を徹底するとともに業務継続計画を再確認し、施設の安全稼働を図ります。</p>	①継続して実施
	総合計画	
	2-4-① 防災力の充実強化を図ります。	
	基本政策	
26 強靱なまちづくりの推進		